

**クロネコ メール便**  
 本状は郵便物・信書便物ではありません。

配達に関するお問い合わせは  
 ヤマト運輸株式会社  
 057-600 愛知物流システム支店  
 ☎ 0120-118-010

いつまでも選ばれるパローであるために。



糊付けされております。いかなり開けて、中面までご覧ください。

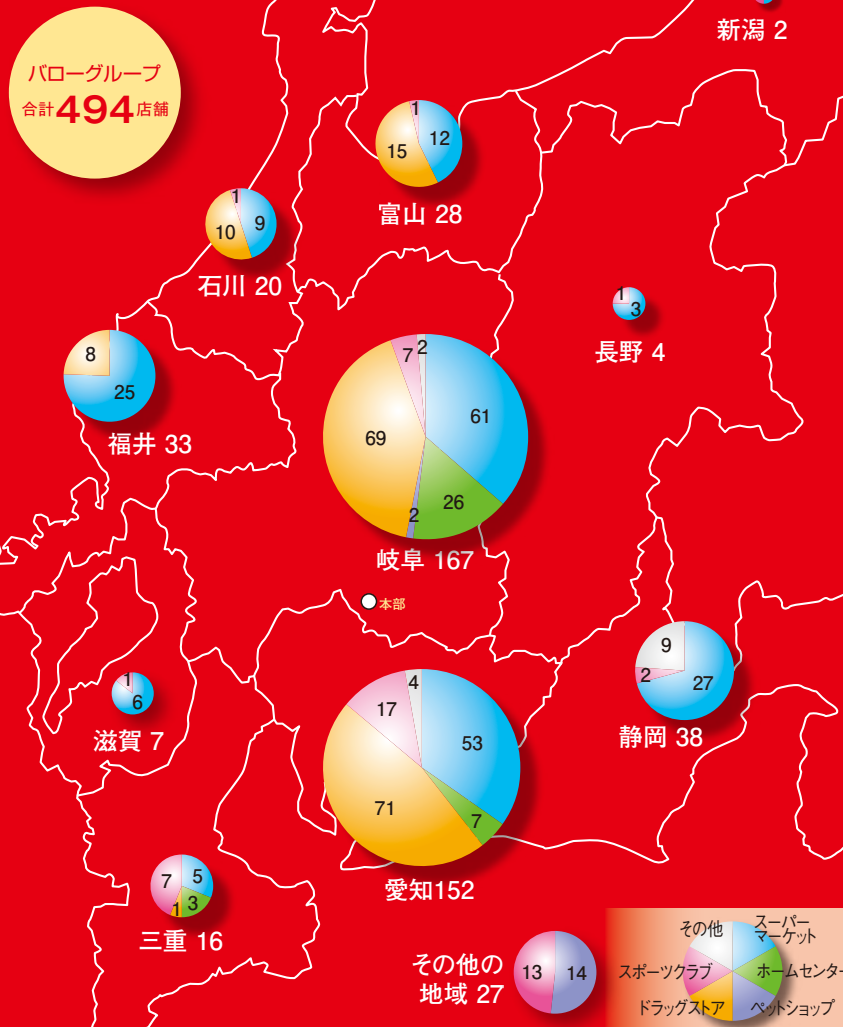
# 株主通信

## 第54期 事業報告書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

### 中部エリアにおけるグループ店舗数の県別構成割合

(大きさは総数の比率、数字は店舗数)  
 (平成23年3月31日現在)



パロー恵那店



パロー豊川店



パロー真野店



ユース長浜店



パロー上野台店



パロー小牧岩崎店



Vdrug 豊川北店



Vdrug 大口店



## 日本一のSMチェーンを目指し、自らの信じる道を邁進します。

代表取締役社長 田代正美

**Q** 当期（第54期）を振り返って総括をお願いします。

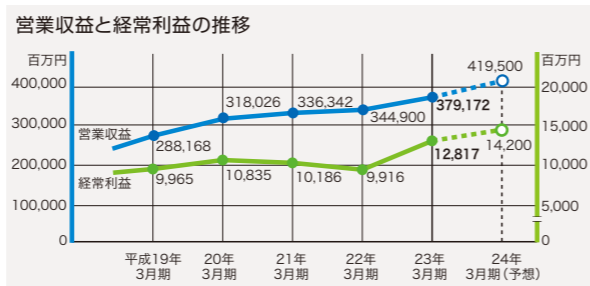
**A** まず、当期の業績が高く評価されたことを象徴する出来事の一つとして、本年5月に日本格付研究所による長期優先債務格付けが「BBB+」から「A-」に引き上げられたことをご報告します。社債の発行条件が大きく改善され、今後の資金調達の見通しが明るくなることにもなりますから、事業規模の拡大を目指し、資金需要が旺盛なパローグループにとって、まさに朗報と言えます。

個々の事業をみますと、いずれも前期から着実に進歩を遂げたと評価できます。

特に主力のスーパーマーケット事業においては「現場力の強化」を目指した人材育成の効果が現れてまいりました。今期は18店舗のスーパーマーケットを出店し、投資負担も出店経費も結構な額がかかりましたが、それをこなし増益の決算ができたのは、既存の店舗の売上伸長、利益率改善を成し遂げた、現場の努力によるものだと思います。また、パローが目指すのは「小売業から流通業への進化」ですが、川上に遡って独自商品を開発する取り組みは、その一端であり、当期も着実に成果を挙げ、集客力の向上や収益性の改善に貢献したといえるでしょう。

ホームセンター事業では、自分たちが創りたい「店のかたち」について社員の意識が高まってきました。基本は、単に商品を陳列するのではなく、専門知識を基にお客様にご提案することで販売につなげる営業です。そのためにはやはり教育が非常に重要だと言えます。また、ドラッグストア事業では店舗数の増加によるスケールメリットが現われつつあります。その他の事業部門でも、流通事業拡大との相乗効果等により、着実な成長を果たしました。

会計制度の変更に伴う特損の計上などもあり、期初の段階では減益の予想でしたが、上記のような政策について努力を続けた結果、パローグループの第54期決算はおかげさまで増収増益を達成することができました。



**Q** 中間期の株主通信でご紹介いただいた、次代流通業への3つの要素、「事業規模の拡大」「製造小売業への進化」「現場力の強化」への取り組みについて、当期の成果はいかがでしたか。

**A** まず「事業規模の拡大」ですが、パローグループでは、当期を起点として5年間でスーパーマーケット80店舗、ドラッグストア100店舗を出店する計画を表明しています。新店投資の軽量化と並んでこの積極出店を成功させる鍵になるのが、物流システムの整備です。

私はこの業界に身を投じて間もない頃にアメリカを視察した際、物流コストの低いチェーンストアの経営に注目しました。そして、物流を制する者が天下を制すると確信したのです。

今日では、多くのスーパーマーケットが物流センターを有していますが、そのほとんどは問屋の設備を借りているに過ぎません。これに対し、パローでは、あくまでも自前で物流シ



パロー物流センター（岐阜県多治見市）

ステムの構築を進めてきました。その差がパローと他社との利益の差になっていると自負しています。

次に「製造小売業への進化」です。小売の機能とメーカー機能を併せ持つビジネスモデルを目指しています。パン生地・惣菜・漬物などは自ら生産設備を保有することで、品質・価格バランスの飛躍的な向上を実現しました。また、商品の企画・製造の工程から関わって開発する、いわゆるプライベートブランド(PB)商品の品目数は1,000点に迫り、食品スーパー事業におけるPB商品の売上構成比は、18%近くにまで達しました。

中でも、「サプライズ50」として50品目の開発を目標にスタートした、「驚きの低価格」を実現した商品群は、特にご好評をいただいています。今年の6月末までには100品目を開発する計画で、期末には200品目を取り揃える事を目指しています。



パローPB商品の一例

ただし、これらの開発商品は、品目数や売上構成比を上げていくこと自体が目標ではありません。売場の魅力を維持するためにはメーカーブランドの商品とのバランスを取ること重要で、その上で、パローのPB商品を、「どんなブランドにも負けない、日本でいちばん売れている商品」へと育てていくことを目指しています。

第3の要素が「現場力の強化」です。先ほど申し上げたとおり、大量の出店をこなし増益の決算ができたのは、既存店舗が健闘して売上を伸ばしたことや、生鮮部門で荒利益率が大きく改善したこと、そして経費率の伸びが低く抑えられたことなど、現場の努力の賜物なのです。

東日本大震災の被害の大きさには、本当に胸が痛みます。東南海地震の発生が予測される当地方でも、大震災に対する対応マニュアルは様々に準備されていますが、今回の震災のような被害状況の中では、型にはまったマニュアルなどは吹き飛んでしまう。やはり大切なのは「現場力」であり、それぞれの現場にいる人間の、柔軟かつ迅速な判断力や対応力が命運を分けるということを痛感しました。

**Q** 今後の日本の小売業、そしてパローグループの目指す姿に対して、現状をどのように捉えておられますか。

**A** 日本の小売業は労働集約型産業であり、生産性が低いために規模を拡大するほど収益性が下がるとよく言われます。わが国の小売業の宿命とも言えるこの問題を打破するために、パローグループは先ほどお話しした3つの課題に取り組んでいます。

積極出店開始の初年度は計画以上の成果を挙げることができ、現在は2期目を迎えているわけですが、基本的な考え方には、大きな変化はありません。

つまり、東日本大震災という不測の事態は加わりましたが、我々を取り巻く経営環境は、少子高齢化の問題、デフレの問題、オーバーストアの問題と、何ら変わっていないということです。ですから、特別に今期はこうするといったことではなく、当初の5か年計画を粛々と進め、一つ一つ着実に遂行していく方針です。

出店拡大を支える物流システムの増強を図るため、岐阜県可児市に約50万平方メートルの用地を確保しました。数年がかりで新たな物流センターや研修施設、そして本部施設を建設していく計画です。パローグループの武器である物流の強化に加え、脱・労働集約型産業への一手となるプロセスセンターの構築も構想にあります。

パローグループが目指す究極の姿に対して、現在は未だ道半ばと言わざるを得ません。ですが、当期決算で営業収益は3,800億円に迫り、当期からの5か年で5,000億円企業を目指すとの計画も、まずは順調にスタートしました。かつては夢物語に聞こえた、「食品スーパーで日本一に」との目標も、現実感を持って掲げられる所まで来ています。

また、これからの時代は、エコロジーに積極的に寄与していくことが企業の責任であると思います。パローグループでも、すでに省エネ実験店などを稼働していますが、実は前出の可児市に新設する物流センターの敷地内でも、「潜在自然植生」のプロジェクトに、この分野の第一人者からご指導を得て取り組んでいます。これは、社員が現地で収集した木の実を発芽させて植樹し、その土地に固有の植生を再生しようというものです。



新拠点建設用地での地鎮祭（岐阜県可児市、本年5月）

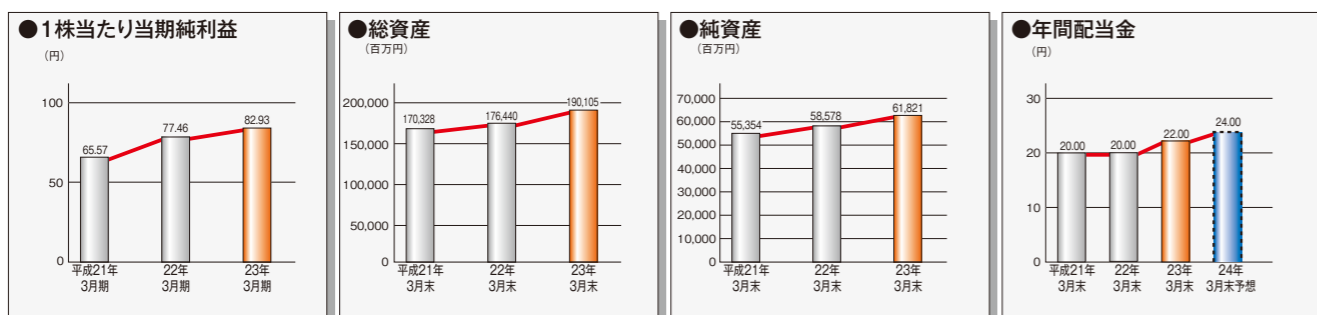
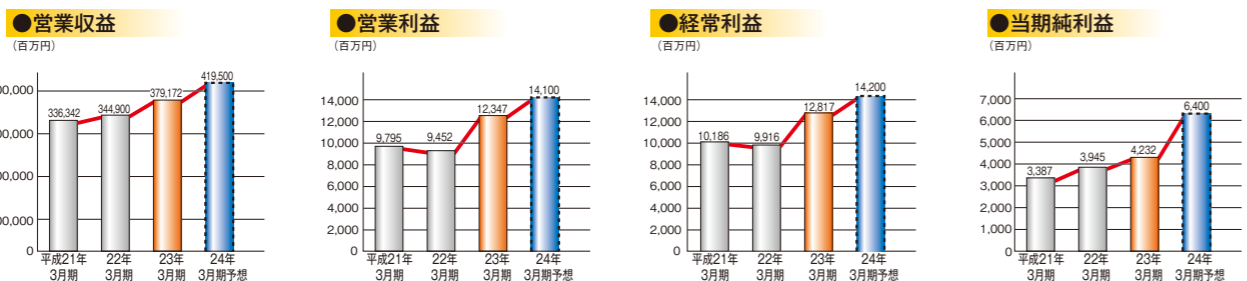
**Q** 最後に、株主の皆様へのメッセージをお願いします。

**A** パローという社名は、古い英語で「勇気ある者」を意味する言葉です。パローグループは次世代における流通業の姿を見据え、日本一の食品スーパーを目指して、勇気ある挑戦を続けています。

パローグループが、目先の環境に惑わされず、このように一貫した戦略を継続できるのも、株主の皆様のご理解と温かいご支援の賜物であり、改めて厚く御礼申し上げます。そのご支援にお応えするため、平成23年3月期の期末配当を2円増配させていただきました。また、平成24年3月期についても、中間配当で2円の増配を計画しております。

株主の皆様には、引き続き一層のご支援を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

決算の概況 (連結)	(単位:百万円)						
	前期	当期				来期	
	平成21年4月1日から 平成22年3月31日 実績	平成22年4月1日から平成23年3月31日 実績 伸び率		期初計画 達成率	平成23年4月1日から平成24年3月31日 予想 伸び率		
営業収益	344,900	379,172	9.9%	101.4%	419,500	10.6%	
営業利益	9,452	12,347	30.6%	128.6%	14,100	14.2%	
経常利益	9,916	12,817	29.3%	126.9%	14,200	10.8%	
当期純利益	3,945	4,232	7.3%	136.5%	6,400	51.2%	



当社の戦略と業績のポイント

当期、パローグループは、積極的な出店によりグループ全体で期末の店舗数は494店舗となりました。事業規模の拡大を図るとともに、高品質・低価格を目指した商品開発、従業員教育の充実によるサービスレベルの向上に取り組み、店舗における営業力強化を進めました。また、グループ企業同士のシナジーを追求し、グループ全体の成果の最大化を目指しました。

以上の結果、当期の連結業績は、営業収益は3,791億72百万円(前期比9.9%増)、営業利益は123億47百万円(前期比30.6%増)、経常利益は128億17百万円(前期比29.3%増)、当期純利益は42億32百万円(対前年同期比7.3%増)となりました。

店舗の新設状況 (平成22年4月~23年3月)	
<b>愛知県</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>SM/パロー 堀越店 4/15 名古屋西区</li> <li>SM/パロー 名和店 4/22 東海市</li> <li>SM/パロー 常滑店 9/9 常滑市</li> <li>SM/パロー 小牧岩崎店 10/28 小牧市</li> <li>SM/パロー 上野台店 11/25 東海市</li> <li>SM/パロー 豊川店 2/10 豊川市</li> <li>V-drug 堀越店 4/15 名古屋西区</li> <li>V-drug 矢作店 4/29 岡崎市</li> <li>V-drug 碧南店 7/29 碧南市</li> <li>V-drug 江南北店 10/7 江南市</li> <li>V-drug 豊川西店 10/28 豊川市</li> <li>V-drug 西あたご薬局 11/1 津島市</li> </ul>
<b>静岡県</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>V-drug 富士松店 12/2 刈谷市</li> <li>V-drug 豊川北店 2/10 豊川市</li> <li>V-drug 大口店 2/24 羽羽郡大口町</li> <li>V-drug 基目寺店 3/17 あま市</li> <li>V-drug 中川富田店 3/17 名古屋市中川区</li> <li>SM/パロー 岐南店 8/5 鳥取郡岐南町</li> <li>SM/パロー 北一色店 8/5 岐阜市</li> <li>SM/パロー 富加店 9/23 加茂郡富加町</li> <li>V-drug 関線ヶ丘店 4/15 関市</li> <li>V-drug 神岡店 9/23 飛騨市</li> <li>V-drug 古川店 1/27 飛騨市</li> </ul>
<b>滋賀県</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>SM/パロー 八日市店 4/8 東近江市</li> <li>SM/パロー 草津店 5/13 草津市</li> </ul>
<b>長野県</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>SM/パロー 彦根店 7/8 彦根市</li> <li>SM/パロー 真野店 12/2 大津市</li> <li>ユース 長浜店 10/21 長浜市</li> <li>SM/パロー 秋和田 7/22 上田市</li> <li>V-drug 碓波店 10/7 碓波市</li> <li>V-drug 射水大島店 12/2 射水市</li> <li>SM/パロー 松任店 5/20 白山市</li> <li>アクトス Will松山 5/1 松山市</li> </ul>

### スーパーマーケット事業

営業収益/2,699億18百万円 営業利益/95億80百万円

〈店舗施策〉

- SM(スーパーマーケット)パロー16店舗・(株)ユース、(株)食鮮館タイヨーそれぞれ1店舗新規に出店しました。
- 昨年度末に買収した(株)ピックボンドストアの7店舗は、1店舗をSMパローに、6店舗を食鮮館タイヨーにそれぞれ改装し新規オープンいたしました。
- 創業1号店であり旗艦店でもあるSMパロー恵那店を全面的に新築し、11月にリニューアルオープンいたしました。
- 環境変化の中で役割を終えた3店舗を閉店いたしました。

〈商品施策〉

- 「サプライズ価格」と銘打った自社企画商品のさらなる開発を推進しました。
- 毎日がお買い得価格で販売するELDP施策を拡大しました。

●惣菜製造、パン生地製造に加え、漬物の製造を開始するなど、製造小売業のビジネスモデルづくりを推進しました。

〈営業状況〉

- 店舗施策・商品施策の成果に加え、第2四半期には全国的な猛暑特需などもあり、SMパローにおける既存店売上高は、通期で前年比プラス1.1%の伸びを達成することができました。

### ホームセンター事業

営業収益/389億28百万円 営業利益/12億69百万円

- 既存店の営業力強化に注力しました。専門商材関連の販売強化を目的とした中堅クラスの店舗で売り場改装を行い、より魅力的な売場作りを行いました。
- 従業員教育の強化に努め専門知識充実・サービス向上の効果により、既存店売上高は通期で前年比プラス5.7%の大幅な伸びを達成することができました。

### ドラッグストア事業

営業収益/506億51百万円 営業利益/13億57百万円

- ドラッグストア新規主店16店舗、閉店1店舗により当年度末の店舗数は174店舗となりました。
- 業態を越えた競合に対処するために、店舗全体の低価格戦略と経費削減に取り組み、季節品売上高の伸長も貢献し、過去最高の売上・利益を達成することができました。

### スポーツクラブ事業

●営業収益/85億14百万円 ●営業利益/77百万円

- スタッフの能力向上により、会員満足度の向上と退会率の改善を図りました。
- 愛媛県松山市に「アクトスWill松山」出店、大分市の「アクトス大分」の閉店により当年度末の店舗数は51店舗となりました。

### 流通関連事業

●営業収益/59億29百万円 ●営業利益/24億10百万円

- 流通事業の規模拡大に対応するためのインフラ整備や、サービスレベルの維持向上を図ったほか、グループ外への販路拡大や経営効率の改善に取り組みました。

## バローピックス

### 東日本大震災の被災地への義援金

平成23年3月11日に発生いたしました「東日本大震災」により被災されました皆様に、心よりお見舞い申し上げます。当社では被災者の皆様の救援や被災地の復興に役立てていただくため、3月16日に株式会社パローおよび会長、社長個人での義援金、計5,000万円を本店所在地である岐阜県恵那市を通じて寄附いたしました。

また、3月12日よりグループ494店にて募金活動を開始し、その募金額は、おかげさまで3月末までに5,176万8,380円に達しました。加えて3月26日・27日には、株式会社パローおよび中部薬品株式会社の各店にて「5%義援金セール」を展開し、両日の売上の5%に相当する1億738万6,984円と合わせて、4月5日に岐阜県を通じて日本赤十字社に寄附いたしました。

グループ全店における災害復旧・復興支援のための募金活動は引き続き継続してまいります。被災地の一日も早い復興を、心よりお祈り申し上げます。

古田肇知事に義援金を託した伊藤喜美相談役名譽会長(右)  
(写真提供: 岐阜新聞社)

(単位:百万円)

●経営成績	当 期 平成22年4月1日から23年3月31日	前 期 平成21年4月1日から22年3月31日
営業収益	379,172	344,900
営業利益	12,347	9,452
経常利益	12,817	9,916
当期純利益	4,232	3,945

グループ企業同士のシナジーを追求し、グループ全体の成果を最大化すべく努めた結果、営業収益は3,791億72百万円(対前年同期比9.9%増)、営業利益は123億47百万円(対前年同期比30.6%増)、経常利益は128億17百万円(対前年同期比29.3%増)、当期純利益は42億32百万円(対前年同期比7.3%増)の増収・増益となりました。

POINT

●財務の状況	当 期 平成23年3月31日現在	前 期 平成22年3月31日現在
流動資産	45,530	39,117
固定資産	144,535	137,323
総資産	190,065	176,440
負債	128,244	117,862
純資産	61,821	58,578
負債純資産合計	190,065	176,440

当連結会計年度末の総資産は、136億25百万円増加となりました。これは主に、新規出店による棚卸資産及び設備投資等による固定資産増加によるものです。負債は、買掛金、未払法人税等の増加により103億82百万円増加しました。

POINT

●キャッシュ・フローの状況	当 期 平成22年4月1日から23年3月31日	前 期 平成21年4月1日から22年3月31日
キャッシュ・フロー		
営業活動によるもの	20,324	16,004
投資活動によるもの	△14,428	△10,453
財務活動によるもの	△1,608	△5,291

投資活動によるキャッシュ・フローが39億74百万円減少となりました。これは主に、新規出店及び改装による有形固定資産の取得及び差入保証金の差入額の支出によるものであります。財務活動のキャッシュ・フローが36億82百万円増加しました。これは主に、長期借入金の調達があったものの、短期借入金と長期借入金の返済及び配当金の支払によるものであります。

POINT

IR ページをリニューアルしました。 [http://www.valor.co.jp/website\\_ir/index.html](http://www.valor.co.jp/website_ir/index.html)

株主・投資家の皆様と、より良いコミュニケーションを図るため、ホームページ上で積極的に情報開示しております。



トップページの「IR 情報」をクリック

●会社概要 (平成23年3月31日現在)

会社名 株式会社 バロー  
 設立 昭和33年7月29日  
 事業内容 当社は、スーパーマーケット、ホームセンター及びペットショップを中心とした小売業を営んでおります。このほか、グループ企業においてスーパーマーケット、ドラッグストア及びスポーツクラブ等を経営するとともに、小売業をサポートする仕入・加工・配送・維持管理等の業務を営んでおります。  
 所在地 本部：岐阜県多治見市大針町661-1  
 資本金 119億16百万円  
 従業員数 社員：4,245名  
 パート・アルバイト等：12,140名(8時間換算人数)

●役員 (定時株主総会終了後)

代表取締役社長 田代 正美  
 取締役副社長 川野 篤之 (開発統括本部長)  
 専務取締役 中村 純二 (SM事業統括本部長兼SM営業本部長)  
 常務取締役 鈴木 一宏 (SM商品統括本部長)  
 取締役 今井 俊幸 (企業設計統括本部長兼総務部長)  
 取締役 愛知 久士 (用地開発部長)  
 取締役 志津 幸彦 (財務部長)  
 取締役 横山 悟 (株式会社アクトス代表取締役社長)  
 取締役 古谷 光雄 (株式会社ユース代表取締役社長)  
 取締役 山下 隆夫 (HC事業統括本部長兼HC営業部長)  
 取締役 伊藤 正彦 (SM美濃加茂店長)  
 取締役 和賀登 盛作 (HC稲沢平和店長)  
 常勤監査役 久保 香一郎  
 常勤監査役 佐々木 公  
 監査役 市川 康夫 (公認会計士)  
 監査役 豊田 滋 (税理士)  
 監査役 廣田 輝夫 (税理士)

●バローグループ (平成23年4月1日現在)

株式会社バロー  
 株式会社ユース  
 株式会社タチヤ  
 株式会社食鮮館タイヨー  
 株式会社ビックボンドストアー  
 山成商事株式会社  
 中部薬品株式会社  
 株式会社岐阜ファミリーデパート  
 中部フーズ株式会社  
 株式会社ダイエンフーズ  
 株式会社主婦の店商事中部本社  
 株式会社Vソリューション  
 株式会社北欧倶楽部  
 株式会社福井中央漬物  
 株式会社飛騨小坂ぶなしめじ  
 中部流通株式会社  
 メンテックス株式会社  
 中部興産株式会社  
 株式会社セイソー  
 中部開発株式会社  
 有限会社Vマート  
 株式会社アクトス  
 株式会社中部保険サービス  
 株式会社ヒルトップ  
 農業生産法人ひるがのフラワーファーム有限会社  
 株式会社Varo (韓国)  
 バローインドネシア株式会社

株式の状況

STOCK INFORMATION (平成23年3月31日現在)

●株式数及び株主数

発行可能株式総数 112,800,000 株  
 発行済株式の総数 52,661,699 株  
 株主数 18,260 名

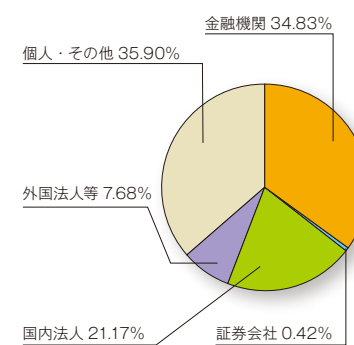
●所有者別株式の分布状況

	株主数(名)	持株数(千株)	持株比率(%)
金融機関	43	18,343	34.83
証券会社	20	220	0.42
国内法人	439	11,149	21.17
外国法人等	133	4,046	7.68
個人・その他	17,625	18,903	35.90

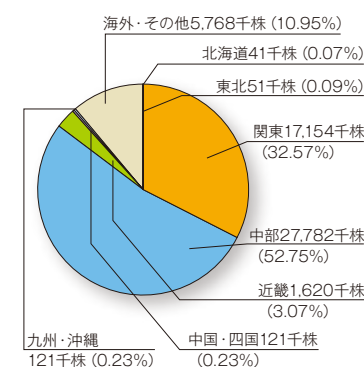
●株式数及び株主数

	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,359	6.37
田代 正 美	2,868	5.44
農 林 中 央 金 庫	2,512	4.77
財団法人伊藤青少年育成奨学会	2,400	4.55
株 式 会 社 十 六 銀 行	2,190	4.15
株 式 会 社 十 六 銀 行	1,731	3.28
伊 藤 喜 美	1,678	3.18
株 式 会 社 三 菱 東 京 U F J 銀 行	1,446	2.74
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,419	2.69
中 部 エ ー ジェ ント 株 式 会 社	1,203	2.28

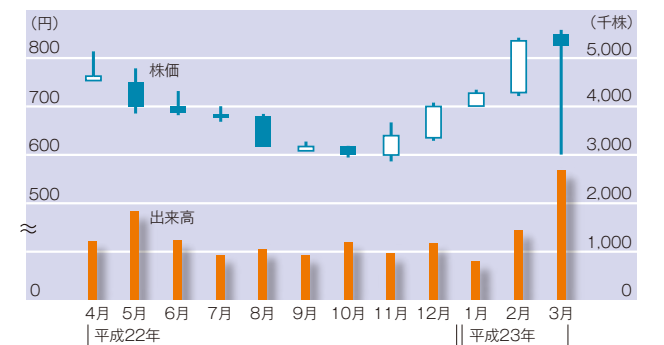
所有者別株式の分布状況



地域別株式の分布状況



株価および出来高の推移



## 株 主 M E M O

●事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日

●定時株主総会 毎年6月

●期末配当金受領株主確定日 3月31日

●中間配当金受領株主確定日 9月30日

●株主名簿管理人

東京都港区芝三丁目33番1号 〒105-8574  
中央三井信託銀行株式会社

●同事務取扱場所

名古屋市中区栄三丁目15番33号 〒460-8685  
中央三井信託銀行株式会社 名古屋支店証券代行部  
電話 0120-78-2031(フリーダイヤル)

●同取次窓口

中央三井信託銀行株式会社 本店及び全国各支店  
日本証券代行株式会社 本店及び全国各支店

●単元株式数 100株

●公告の方法

電子公告の方法により行います。ただし、やむをえない事情により電子公告ができない場合、日本経済新聞に掲載します。  
公告掲載URL ([http://www.valor.co.jp/website\\_ir/index.html](http://www.valor.co.jp/website_ir/index.html))

●住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出下さい。  
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出下さい。

### ● 第54期定時株主総会決議のご通知 ●

平成23年6月24日開催の当社第54期定時株主総会におきまして、下記のとおり報告並びに決議されましたので、ご通知申し上げます。

#### ▶ 報告事項

- 第54期(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)事業報告の内容、連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
  - 第54期(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)計算書類の内容報告の件
- 本件は、上記の内容を報告いたしました。

#### ▶ 決議事項

##### 第1号議案

取締役12名選任の件  
本件は、原案どおり承認可決されました。

##### 第2号議案

退任取締役に対し、退職慰労金贈呈の件  
本件は、原案どおり承認可決されました。

##### 第3号議案

役員賞与支給の件  
本件は、原案どおり承認可決されました。

##### 第4号議案

取締役及び従業員並びに当社子会社の取締役に対しストックオプションとして新株予約権を発行する件  
本件は、原案どおり承認可決されました。

##### 第5号議案

当社株式の大量買付行為への対応策(買収防衛策)の更新の件  
本件は、原案どおり承認可決されました。

以上

## 株主優待制度のお知らせ

毎年3月31日現在の所有株式数100株以上の株主様に対し、A(自社開発商品詰合せ)、またはB(商品券)のいずれかを選択していただき、年1回贈呈いたします。

※パローグループ商品券は、パローグループ専用の商品券です。スーパーマーケットパロー、ホームセンターパロー、ペットフォレスト、V-drugなどパローグループの各店をご利用いただけますが、他社の店舗ではご利用いただけません。ご注意ください。  
※商品詰め合わせの写真は過去の一例です。内容は毎年変わりますのでご了承ください。

保有株式数	100株～499株	500株～999株	1,000株以上
A 自社開発 商品 詰合せ	 1,500円相当	 2,500円相当	 5,000円相当
B 商品券 (500円券)	 3枚 1,500円	 5枚 2,500円	 10枚 5,000円



環境に配慮した「植物油インキ」を使用しています。

## 株式会社 パロー

本 部 岐阜県多治見市大針町661-1  
TEL 0572-20-0860 (代表)  
ホームページ <http://www.valor.co.jp/>